

2 級 眼鏡作製技能検定試験の試験科目及びその範囲並びにその細目

(1) 技能検定試験の合格に必要な技能及びこれに関する知識の程度

眼鏡作製の職種における中級の技能者が通常有すべき技能及びこれに関する知識の程度を基準とする。

(2) 試験科目及びその範囲

表 2 の左欄のとおりである。

(3) 試験科目及びその範囲の細目

表 2 の右欄のとおりである。

学 科 試 験

【03】商品系

表 2

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
① 眼鏡フレーム	<ol style="list-style-type: none">次に掲げる眼鏡フレームの各部名称及び基本的な条件・構造について概略の知識を有すること。<ol style="list-style-type: none">フロントテンプル・テンプルチップ丁番リムロック智ブリッジクリングス・パッド次に掲げる眼鏡フレームの種類について概略の知識を有すること。<ol style="list-style-type: none">プラスチックフレームフルリム・メタルフレームツーポイント縁なしフレームハーフリム・溝掘りフレームコンビネーションフレーム次に掲げる眼鏡フレーム寸法の測定方式及び規格について概略の知識を有すること。<ol style="list-style-type: none">ボクシングシステム

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
	<p>(2) テンプルの長さ</p> <p>(3) データムラインシステム</p> <p>4. 次に掲げる眼鏡フレームの玉型デザインについて概略の知識を有すること。</p> <p>(1) ボストン</p> <p>(2) フォックス</p> <p>(3) オーバル</p> <p>(4) ラウンド</p> <p>(5) ウェリントン</p> <p>(6) スクエア</p> <p>5. 次に掲げる眼鏡フレームの素材について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) プラスチック素材</p> <p>(2) 金属素材（チタン・貴金属）</p> <p>(3) 天然素材（べっ甲・水牛・羊・木・竹）</p> <p>(4) カーボンファイバー</p> <p>6. 次に掲げる眼鏡フレームの表面処理について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) メッキ</p> <p>(2) 塗装（樹脂被膜）</p> <p>(3) 二次表面処理</p> <p>(4) 金張り</p> <p>7. 次に掲げる眼鏡フレームの製造工程について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) メタルフレーム</p> <p>(2) プラスチックフレーム</p> <p>8. 次に掲げる特殊眼鏡フレームについて概略の知識を有すること。</p> <p>(1) アルバイトフレーム（跳ね上げ式）</p> <p>(2) 折り枠・内掛け式・前掛け式</p> <p>(3) 防塵用・花粉防止用・保湿用・化粧用</p> <p>(4) スポーツ用（剣道用・射撃用）</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
② 眼鏡レンズ	<p>(5) カーブ付き</p> <p>9. 眼鏡の原産国表示について概略の知識を有すること。</p> <p>10. 幼児・学童に適した眼鏡フレームの特徴について概略の知識を有すること。</p> <p>11. 次に掲げる眼鏡フレームと顔の調和について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 顔と玉形の高さとの関係</p> <p>(2) 顔と玉形の上下幅との関係</p> <p>(3) 顔と眼鏡フレームの横幅との関係</p> <p>(4) 顔と眼鏡フレームのトップラインとの調和</p> <p>(5) 顔のラインと眼鏡フレームとの関係</p> <p>12. 次に掲げる顔の印象に影響のある眼鏡フレームの性質について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 玉型による印象</p> <p>(2) フレームラインによる印象</p> <p>(3) フレームアクセントによる印象</p> <p>(4) ブリッジの形と幅</p> <p>13. 顔型（長さ・ふくよかさ・彫り）に合わせた眼鏡フレームについて概略の知識を有すること。</p>
	<p>1. 次に掲げる眼鏡レンズの特性について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 単焦点レンズ</p> <p>(2) 累進レンズ</p> <p>(3) 多焦点レンズ</p> <p>2. 次に掲げる眼鏡レンズの素材について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) プラスチック素材</p> <p>(2) ガラス素材</p> <p>3. 眼鏡レンズの形状について概略の知識を有すること。</p> <p>4. 次に掲げる眼鏡レンズの設計について概略の知識を有すること。</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
	<p>(1) 単焦点レンズ（球面・非球面・両面非球面）</p> <p>(2) 多焦点レンズ（二重焦点・三重焦点）</p> <p>(3) 累進レンズ（遠近・中近・近々）</p> <p>5. 次に掲げる眼鏡レンズの要素について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 屈折率</p> <p>(2) アッベ数</p> <p>(3) 比重</p> <p>6. 次に掲げる眼鏡レンズの表面処理について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 撥水・撥油コート</p> <p>(2) 反射防止コート</p> <p>(3) 耐傷性コート（ハードコート）</p> <p>(4) 耐衝撃性コート（プライマーコート）</p> <p>(5) 紫外線カット処理</p> <p>(6) カラーコート</p> <p>(7) 防曇コート</p> <p>(8) ブルーライトカット</p> <p>7. 次に掲げるガラスレンズについて概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 種類と特長</p> <p>(2) 製造工程</p> <p>8. 次に掲げるプラスチックレンズについて概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 種類と特長</p> <p>(2) 製造工程</p> <p>9. 次に掲げる眼鏡レンズの収差について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 球面収差</p> <p>(2) コマ収差</p> <p>(3) 非点収差</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
<p>③ 眼鏡の取扱い・手入れ・その他商品</p>	<p>(4) 像面湾曲</p> <p>(5) 歪曲収差</p> <p>10. 次に掲げる眼鏡レンズの特性について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) カラーレンズ</p> <p>(2) 調光レンズ</p> <p>(3) 偏光レンズ</p> <p>(4) 遮光レンズ</p> <p>(5) 紫外線カットレンズ</p> <p>(6) 赤外線減光レンズ</p> <p>(7) ハイカーブレンズ</p> <p>11. 幼児・学童に適した眼鏡レンズの特徴について概略の知識を有すること。</p> <p>12. 次に掲げるインディビジュアルレンズについて概略の知識を有すること。</p> <p>(1) レンズ特性</p> <p>(2) 測定方法</p> <p>(3) 測定項目（個別装用パラメーター）</p> <p>(4) フィッティング</p> <p>1. 次に掲げる眼鏡の取扱いについて概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 眼鏡の掛け外し・保管</p> <p>(2) 眼鏡の使用環境</p> <p>2. 次に掲げる眼鏡の手入れについて概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 眼鏡のクリーニング</p> <p>(2) 眼鏡の拭き取り方</p> <p>(3) メンテナンス</p> <p>3. 次に掲げる眼鏡の使用上の注意について概略の知識を有すること。</p> <p>(1) 保証</p>

試験科目及びその範囲	試験科目及びその範囲の細目
	<ul style="list-style-type: none"> (2) 使用時のリスク (3) フレーム・レンズに影響する要因 (4) 経年変化 <p>4. 次に掲げる光学製品について概略の知識を有すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ルーペ (2) 望遠鏡